

## 日中サービス支援型共同生活援助事業所の開設について

### 1. 趣旨

平成 30 年 4 月の「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の改正により新設された「日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）は、障がい者の重度化・高齢化に対応するための共同生活援助の新たな類型です。

「日中サービス支援型共同生活援助（グループホーム）」の運営にあたっては、地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質を確保する観点から、事業者は、地方公共団体が設置する協議会等に対し、定期的に（年 1 回以上）事業の実施状況等を報告し、評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴く機会を設けなければならないと基準省令第 213 条の 10 に定められています。

また、都道府県知事が必要と認める場合には、事業指定の申請にあたり、協議会等に対し、運営方針や活動内容等を説明し、評価を受け、その内容を知事に提出することとされています。

### 2. サービスの概要

障がい者の重度化・高齢化に対応するために、常時の支援体制を確保するとともに、短期入所を併設し地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊の場を提供することとされており、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の維持等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されているグループホームです。【裏面を参照ください】

### 3. 開設予定事業所について

| 項 目       | 内 容                        |
|-----------|----------------------------|
| 事業所名・運営法人 | ラシエル静里・株式会社ラシエル            |
| 所在地       | 大垣市静里町 1365 番地、1370 番地     |
| 事業開始予定年月日 | 令和 3 年 11 月（予定）            |
| 定員        | 20 名                       |
| 運営方針等     | 【資料 5-1】共同生活援助事業所の申請調書のとおり |

### 4. 評価（要望・助言）の視点

- ①地域に開かれた運営について（地域住民との交流の機会の確保、ボランティア受入等）
- ②短期入所の併設について（緊急的利用のニーズへの対応等）
- ③支援の実施について（利用者が充実した地域生活を送るための外出や余暇活動等の支援、支援の質の確保、重度化・高齢化等のニーズへの対応等）
- ④利用者の状況について（障害特性（医療的ケア・強度行動障がいのある方の受入等）